



私たちはこの笑顔を守ります

〔巖原幼稚園交通安全教室〕



令和4年第1回対馬市議会臨時会(3月)の概要

令和4年第1回臨時会が3月28日に開かれ、3件の提出議案について審議され、全件可決されました。議案につきましては、職員の不祥事問題に関し責任の重さから市長等の給与の減額するもの、その他関連する議案となっております。

- 対馬市市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
- 損害賠償の額の決定について
- 令和3年度対馬市一般会計補正予算（第15号）

【議案】



令和4年第2回対馬市議会定例会(6月定例会)の概要

令和4年第2回定例会が6月14日から6月28日(15日間)の日程で開かれ、23件の提出議案について審議されました。

一般質問は11人が登壇し、活発な議論が展開されました。

また、市長より職員の不祥事問題に関連し一部内示保留となっておりました国の交付金については交付決定をいただいたとの報告がありました。

主な議案

承認(予算) 5件 (令和3年度対馬市一般会計補正予算(第16号) ほか)	➔	全件 承認
承認(条例) 3件 (対馬市税条例等の一部を改正する条例 ほか)	➔	全件 承認
報 告 3件 (令和3年度対馬市一般会計継続費繰越計算書について ほか)		
予 算 案 2件 (令和4年度対馬市一般会計補正予算(第3号) ほか)	➔	全件 可決
条例改正案 3件 (対馬市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例 ほか)	➔	全件 可決
議 決 案 7件 (二級河川の指定変更について ほか)	➔	全件 可決

※ 議案、審議結果は対馬市議会ホームページに掲載しています。

議 案



審 議 結 果



9月定例会のお知らせ

令和4年第3回定例会は、9月中旬に開催を予定しています。
※日程は、議会運営委員会で協議された後、ケーブルテレビ、議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。



常任委員会審査報告

■総務文教常任委員会

委員長 上野 洋次郎

◎付託された案件(1件)

①令和4年度対馬市一般会計補正予算(第3号)

◎審査内容

○総務費、衛生費、教育費に係る補正予算が計上され、マイナポータルと市の基幹情報システムを接続するための行政手続オンライン申請管理システム導入業務委託料、CATV施設の工事費、雇用機会拡充支援事業補助金、航路・航空路事業者に対する交通事業者緊急支援奨励金、新型コロナウイルス感染症予防対策として、学校等の感染予防対策用消耗品等購入費や市役所庁舎のトイレ手洗水栓を非接触型自動水栓にするための工事費、大船越小学校の笠木改修のための工事費、対馬しまの文化・芸術活動推進事業補助金などについて審査を行いました。



■厚生常任委員会

委員長 小田 昭人

◎付託された案件(1件)

①令和4年度対馬市一般会計補正予算(第3号)

◎審査内容

○衛生費に係る補正予算が計上され、新型コロナウイルスワクチン接種事業として、コールセンター職員等人員費、予防接種事業委託料、予防接種のチラシ・説明書の印刷製本費、郵便代等の事務費、新型コロナウイルス感染症予防対策事業として、市内認可保育所等の消毒液・マスク等の購入費、オゾン発生装置の購入費、保育所3施設の空調機器の修繕料などについて審査を行いました。



■産業建設常任委員会

委員長 春田 新一

◎付託された案件(2件)

①令和4年度対馬市一般会計補正予算(第3号)

②対馬市公園等設置条例の一部を改正する条例

◎審査内容

○農林水産業費、商工費、土木費、教育費に係る補正予算が計上され、漁業用燃油高騰対策事業補助金、キャッシュレス決済促進経済対策事業委託料、朝鮮通信使歴史館に隣接する駐車場整備のための測量調査、設計委託料及び用地購入費、新たに鶏知団地を整備するための用地購入費、国の内示増に伴う道路改良事業及び住宅改善事業の工事費等について審査を行いました。また、中対馬未来づくりアクションプランに基づき整備したコテージ2棟の使用料金を設定するため、所要の改正を行う対馬市公園等設置条例の一部を改正する条例について審査を行いました。



6月定例会一般質問

市政を問う



糸瀬 雅之議員

◆有害鳥獣対策について

(糸瀬) 将来的な対馬市の環境問題の観点で、シカ、イノシシの現在の山林埋設処理方法から、大型焼却炉を建設し、焼却処分を今後、検討すべきではないか。

(市長) 現状としましては、捕獲従事者個々が埋設処理を行っており、焼却するほうが従事者の労力の軽減や衛生面、環境面を考えた望ましいとは考えておりますが、財政的負担が生じ続けると思う。

(糸瀬) 建設業協会等に協力をいただき、猟友会の会員数を500名程度に増やし有害鳥獣対策を行ってほしい。

◆佐須奈地区の安心安全な街づくりについて

(糸瀬) 佐須奈地区の中心部を通る道路は、大型車両や歩行者の安全面を考え、将来的な道路整備計画について、どのように進めていくのか。

(市長) 元十八銀行先のカーブ

につきましては、早期の解消が必要と認識しておりますので、市から県への要望を行っていく。(糸瀬) 佐須奈の中心部は、歩道整備を含めて対馬市から県へ強く要望していただきたい。

(糸瀬) 佐須奈地区の大雨水害対策として、佐須奈湾や二級河川佐須奈川、準用河川大戸川に堆積している土砂撤去と将来的な河川整備計画について伺う。

(市長) 県が管理する港湾区域内の土砂除去につきましては、状況を調査して対応を検討していく。佐須奈川については、令和5年度から進めていく。

(糸瀬) 大雨等による災害時の被害状況の確認については、対馬全島の各地域マネージャーも区長と連携を図り、しっかりとした連絡体制をとってほしい。

(糸瀬) 対馬市として、今後、佐須奈多目的施設用地を民間企業に活用していただきたい。

(市長) やはり今からは民間の力を活用することが一番重要であり、しっかりと今後、前向きに検討させていただきたいと思う。



入江 有紀議員

◆2社による水道料金未納の件について

(入江) 1月8日に私に内部告発があり、1月18日の新聞に掲載されました。この業者2社は悪い事をしているのを認め、44万3,230円を持参しています。ということは、対馬市が発注する工事等の契約に係る指名停止の措置要綱で、不正または不誠実な行為の事由。44万3,230円を別に対馬市に払っていることは、対馬市水道条例第19条1、第20条1に違反しており、違反を事業者自ら認めたものであり、業務に関して、不正または不誠実という条例であり、この業者2社を市の指名停止6か月にするべきです。

(水道局長) 新聞報道をご覧になり、未納相当額の差額分を納入されたものです。水道条例では業者の指名停止の措置の規定はございません。

◆介護保険事業について

(入江) 市長は、養護老人ホ

ム2か所を用意しているのとこのことでしたが、緊急でも入居できず、私の3月の質問のご夫婦は、とうとう福岡のホームに入所されました。このご夫婦を空港まで送った時、自分の力のなさに涙が込み上げてきました。今まで対馬市を支えてくださったのは、このお年寄り達なのに、住み慣れた対馬で介護してやることもできず、本土に送り出すこと、かわいそうでたまりません。介護保険9期では、このようなことがないように、住み慣れた島で介護してやれるよう、施設の整備をお願いいたします。

(市長) 高齢者緊急一時保護事業は、高齢者自身若しくは高齢者を介護している家族等の事情により、在宅での介護が一次的に困難となった高齢者を保護することを目的とし、養護老人ホーム2か所において利用できるよう準備しております。

◆移住・Uターン等について

(入江) 移住してきたくても、支援住宅が全島で9戸しかないのです、空き家を利用して支援住宅を増やすべきだと思います。

(しまづくり推進部長) 全島に9戸しかありませんので、今後増やすことも考えていきたいと思っております。

6月定例会一般質問

市政を問う



小島 徳重議員

◆学童クラブ「けいめい」の充実について

(小島) 3月定例会で質問した「学童・けいめい」の新しい体制づくりの進捗状況は。

(市長) 鶏鳴小学校の施設活用について、学校側、事業者を訪問、現況確認・協議した。学校側の意見は、学童への移行は困難との判断。事業者からは施設拡充のため、高齢者コミュニティセンター未使用の別棟使用について要望書が出ている。慎重かつ迅速に審議する。

(小島) 行政の執行にスピード感がない。3月定例会の一般質問を受け、迅速に対応すべき。学校施設の活用については、「新・放課後子ども総合プラン」の主旨が活かされていない。

(市長) 進捗が遅れていることは申し訳ない。早めに進める。
◆「あそびパーク」内の「玄海つっじの森」を猪・鹿の害から保護するための防護柵の設置について

(小島) 「玄海つっじの森」

ろう会」によって、「つっじの森」が形成されつつある。しかし、近年、猪・鹿の害によって苗木が荒らされている。公的な支援による対策が必要。

(市長) 「玄海つっじの森」を始めるにあたり、ボランティアの皆さんの御尽力により、2万8,000本余りの苗木が植栽され、重要な観光資源の一つとなっている。熱心な活動に心より感謝する。猪・鹿の被害は認識している。ツツジの育成・保全の防護柵について、公的な支援策を含め「あそびパーク整備計画」に盛り込みたい。

(小島) あそびパーク内でのツツジ類の保護・育成に合わせ、対馬の貴重な他の植物も保護・育成する考えはないか。

(市長) ハクウンキスゲ、オウゴンオニユリ等、集めて育てることができれば観光客を呼べるのではないか。

◆万関橋からの転落防止策について

(小島) 万関橋から転落防止対策を道路管理者に要望すべき。

(市長) 県では、現時点で改修の計画はないとの回答であるが、粘り強く協議を進めたい。

(小島) 人命尊重が第一。橋の構造に応じた対策を講じるべき。



小宮 教義議員

◆第二国道バイパス道路建設について

(小宮) 国道382号線(美津島町・雞知から豊玉町・浦底間)は一路線だけであり、災害等で不通となれば、交通機関は麻痺する。特に対馬病院までの救急車での搬送は不可能。昨年11月、現職の自民党参議院議員が来島され、この問題を指摘された。国道バイパス道路建設について国に要望する考えはないか。

(市長) 長期的な展望として、国へ要望する。

◆国家賠償について(市職員の6,000万円横領問題等について)

(小宮) 監督責任、任命責任はどのようになったか。

(市長) 両責任とも減給で対応している。

(小宮) 対馬観光活性化協議会の責任は如何に。

(市長) 役員が損害賠償を行う責任はない。



6月定例会一般質問

市政を問う



春田 新一 議員

◆市道仁田志多留線道路改良事業について

(春田) 越高工区の進捗状況は、
(市長) 越高工区については令和2年度より工事に着手、令和6年度までに残りの波返し擁壁、道路背後の整備を完了予定で進めている。

(春田) 御園工区の改良事業計画は、

(市長) 令和5年度に県と協議を進め令和6年度から測量、調査設計に着手、線形については現道を拡幅する形で道路幅員5メートルで計画を考えています。

(春田) 犬ヶ浦トンネルの長寿命化点検の結果と、安心で安全な通行可能な整備と老朽化対策について伺う。

(市長) 平成30年度の点検結果を踏まえて令和2年度から令和3年度にかけて長寿命化対策を実施し、利用者の安全安心な通行を確保したところです。今後の対策では令和5年度に点検を行い、その結果を踏まえて令和7年度から次期長寿命化計画に

おいて早い段階で実施できるよ
う進めていきます。

(春田) 両方に側溝があり乗
車も離合できない状況である。
片方の側溝を取り外すことはで
きないか。

(建設部長) 建築限界を確保で
きないため、現段階において側
溝を撤去することは考えていま
せん。

(春田) 御園大橋について供用
開始から34年になり、橋梁長寿
命化点検は実施されているか、
その結果と整備計画について伺
う。

(市長) 令和3年度の橋梁点検
では健全度が3となり、対策を
講じるべきであるとの結果から
次期計画において実施できるよ
う進める。

(春田) 鉄骨造部分の塗装も含
めてお願いしたい。

(市長) 次期計画によって塗装
も含め整備していくようになる
と思う。

◆自然災害防除対策について

(春田) 御園トンネルの左右の
法面で土砂の流出が多いため対
策を。また、大橋付近の道路災
害防止についても伺う。

(市長) 今後、県のほうとも協
議を進めながら事業化に向けて
検討します。事業化は可能だと
思います。



伊原 徹 議員

◆本市における苦情処理等の実態とその対応について

(伊原) 本市に対する苦情等に
対応するためのマニュアル等は
策定しているか。

(市長) 行政ニーズの多様な
ことから、苦情を問わず、適正な
対応が図られるよう、様々なケ
ースに応じた対応マニュアル作
成に取り組みたい。

◆職員の接遇研修について

(伊原) 直近の接遇研修の開催
と出席した職員数について伺う。

(市長) 近年のコロナ禍の状況
を考慮し、動画による接遇研修
を実施した。動画視聴には、3
78名が受講し、新規採用職員
に対しては、採用初日に人事課
職員による研修を実施し、意識
向上とスキルアップを図ってい
る。

◆通学路の安全確保について

(伊原) 金田小学校区の通学路
点検について伺う。

(教育長) 金田小学校区の通学
路の3か所の危険個所の合同点

検は、平成30年6月に1回目を
実施し、幅員拡張と歩道の延長
を検討した。県としては、ご指
摘の箇所は用地所有者が複数で、
用地獲得が容易ではないが継続
して用地取得に努めている。さ
らに、令和3年9月に合同点検
を実施し、区画線の引き直しや
注意標示設置を完了した。

◆市制20周年でのアトラクションの提案

(伊原) ブルースインパルスによ
る記念飛行の考えはないか。

(市長) 市制20周年記念事業の
ための検討委員会を設置し、協
議を行っている。記念事業の基
本方針、時期及びキャッチフレ
ーズなどの公募を検討している。
この度のご提案は、経費面や意
義などを考慮し、検討委員会
協議してまいりたい。

◆本市における子育て支援の考え方について

(伊原) 市内各所の公園におけ
る遊具施設の充実について伺う。

(市長) 本市管理の遊具設置の
公園は、32か所ある。比較的利
用者の多い施設は、部分的な補
修や施設の長寿命化を図り対応
している。子どもの遊び場の確
保に向けて、しっかりと取り組
んでまいりたい。

6月定例会一般質問

市政を問う



神宮 保夫議員

◆有人国境離島法に新しい項目を追加申請してもらえないか

(神宮) 一次産業の漁業、農業には補助金が出ていますが、二次産業の商業にはほとんど補助金が出ていないので、本土からの運賃等に補助金が出るように有人国境離島法に追加申請してもらえないか。

(市長) 有人国境離島法地域社会維持推進交付金は、農水産品全般の出荷や原材料の輸入に係る海上輸送、または航空輸送に係る費用に対して支援。また、離島活性化交付金事業は林産品、鉱産品、製造食品等の工業品、農水産加工品に限定され、日用品、生活必需品に対する輸送コスト支援の必要性は十分理解するものの、法律の改正等がない限り現時点においては国への追加申請するのは困難であると考えてます。

◆スポーツの県大会の補助金について

(神宮) 毎年、段々と大人のスポーツの補助金が減ってきていると思われれます。そのことで選手の手意識が低くなってきたり、増額してもらえないでしょうか。

(市長) 補助率は大人は100分の25、すなわち4分の1という運用をしています。補助率等の見直しが必要であるかどうかにつきましては、これまでの交付状況を精査するとともに、各競技団体へ県大会等につながる大会件数の調査も行いながら、可能であれば検討してまいりたいと思います。



◆高浜漁港(中高浜地区) 繫船岸壁等の強化について

(大浦) 当地区は難知川の河口に位置し、大雨洪水により大量の砂、礫が堆積する。4〜5年に1回程度、大型重機等により除去しているが、最近、施設に隣接している住居の戸口、窓等の開閉が不自由になったと訴えが起きている。原因は浚渫工事により基礎部分に何らかの変化が起きているとは考えるが、確定した判断とは申しませんが、十分な調査を市は行い対策を講じていただきたい。

(市長) 平成27年の調査結果では異常はないとの報告をいただいておりますが調査後、数年が経過していることから、今後において慎重に調査を実施していきたい。

◆アオウミガメの産卵について

(大浦) 上対馬町茂木浜に以前よりアオウミガメが産卵していた。海水浴場の階段工が整備されてから後にはそのような姿はなくなりましたが、茂木近海ではウミガメの姿が時折見受けられる。この件について調べてみると、昭和62年の大型台風で茂木浜の砂は大波で陸上部に打ち上げられ大きな被害を受けた。翌年、長崎県による災害復旧工事が着手され、平成元年6月に工事は完了したことになるが、従って、30年間産卵ができなかったこととなるが、市長はこのことについてどのようなふうに思うか。

(市長) 産卵を妨げているだろうと指摘されている階段工は災害復旧施設であり、手を加えることはできないと思われる。海に向かって左側約50メートルの海岸線は、階段工等の整備はされておらず、できればこの区間について産卵の環境が改善されるよう何らかの対応ができればと思うが、後に何かあれば話は伺いたいと思う。



大浦 孝司議員



6月定例会一般質問

市政を問う



協本 啓喜議員

◆対馬市観光振興推進計画に掲げるビジョンの確認について

(協本) 国が外国人観光客入国緩和を進めている中、韓国人観光客への対応をどう考えているか。韓国人観光客誘客に対する市民の意見の趨勢をどう捉えているか。

(市長) 今すぐ対馬に韓国人観光客が訪れることは、現段階での水際対策緩和状況では厳しいが、市内経済回復に向けた起爆剤として動向を注視し、対策に取り組む。市民は韓国からの観光客を待ち望んでいると感じている。

◆当該計画が対馬市全体の取組に特化していることについて

(協本) 観光分野の計画でも地域ごとの戦略をメインとし、アップグレードすべきだ。上対馬病院の建替えが公となり、また立地適正化計画に準ずる地域に比田勝周辺も指定された。北部地域における総合的まちづくりの担当として上対馬振興部に権限と財源を付与してはどうか。

(市長) 上対馬振興部のみで走

るのではなく、横串を刺し連携しながら上対馬振興部を中心に据えたいとは思っている。

◆PDCAサイクル(計画作成↓実行↓評価・分析↓改善)の実効ある展開について

(協本) PDCAサイクルの実効ある展開には、事業進捗状況報告会開催の検討ではなく実施が求められる。検討とは開催しないこともあるとの意味か。

(市長) 年2回程度開催を検討しており、最低1回は開催する。(協本) 対馬市観光振興の推進体制については、「市民を中心に据える」とは具体的にどのようなことを実施するのか。

(市長) 事業者が勉強会を行ったり、経営のフォローアップ、事業承継など内容に応じたサポートなど、市民が主体の観光振興事業の展開を見据えている。

(協本) 市民とは観光事業者だと捉えているようだが、市民と事業者は当然同じではない。観光も大事だが、現在、対馬に住んでいる市民の安心安全な生活の確保がもっと重要だ。そのためには事業者以外の一般市民も入って、野放図な観光産業の拡大による観光公害発生を未然防止するための実効ある規制を確立し、それを遵守させる仕組みが必要だ。



船越 洋一議員

◆久田小学校の校舎の外壁塗装工事他について

(船越) 現在の校舎は、築42年になりますが、老朽化により、校舎の外壁は剥がれ、漏水による地盤沈下もありポンプ室は傾き、付近の地下は空洞化が見られ、歩道も地盤沈下している状況であるが、早急に整備できないか。

(教育長) 経年劣化による老朽化が進んでいる状況にあります。ご指摘の件を含め、早急な対応が必要であると考えており、可能な限り早く対応する。

(市長) 今後できる限りの予算をつけながら、外壁の塗装等をはじめとした整備を進める。

◆廃校の活用について

(船越) 対馬市においては、人口減少に伴い、学校の統廃合が進められておりますが、多くの廃校を利用し、多方面での利活用を検討すべきだと思います。市の教育施設跡利用に関する基

本方針には、産業の振興、社会福祉の向上、地域の雇用の創出、地域社会への貢献、その他地域の活性化に著しく寄与すると認められるものについて、貸付を決定し、教育施設跡の積極的な有効活用を促進するとあります。市内に点在する多くの廃校の利活用を島内外に広く公募をかけるか。

(市長) 対馬市教育施設跡利用に関する基本方針に基づき、公共施設としての利用を最優先し、次に地区による利用を、利用見込みがない場合は、雇用の創出や地域の活性化等につなげるため、民間事業者等による利活用を図る。現在、廃校舎は24校あり、利活用されていない廃校舎は16校あり、廃校舎の利活用を進めるため、産業の振興、社会福祉の向上、雇用の創出などを目的とする地域の活性化を図る利用であれば、利用開始後3年間の貸付料を減免し、その後も事業が安定するまで施設利用料を減額も可能であり、また、事務を簡素化することで廃校舎の利活用を推進していく。

6月定例会一般質問

市政を問う



波田 政和議員

◆対馬博物館の周辺整備について

(波田) 観光とは、歩き散策し、ゆつくり研鑽することが大事であると考えているが、看板の設置等、順路を案内する考えはないか。また、博物館下のスロープ、入館料の一定期間無料化の考えについて伺う。

(市長) 博物館、旧金石城庭園万松院、朝鮮通信使歴史館等の周遊観覧券を作成するよう調整を進めており、複数のコース設定を行い、施設の紹介なども併せて実施していく。博物館下のスロープは「史跡金石城跡及び名勝旧金石城庭園保存計画」の中で解体、石垣への積み直しが謳われているが、文化庁等から櫓門前などの石垣の整備等を優先すべきとの指導をいただいている。市民の観覧料金無料の期間の設定も今後、実施していく。

(波田) 短期計画の中にあるト



イレ・休憩所等の整備事業について、消防分団庫のトイレの活用はできないか。
 (消防長) 屋外から直接トイレのみに入ることが出来る施設については、現在、公衆トイレとして使用しているところもある。防犯面等も考慮し、車庫等を経由せずトイレに入れる造りとし、清掃等を含めた維持管理体制について、分団庫を管理する消防分団と調整できれば利用は可能と考えている。

全国市議会議長会永年勤続議員表彰



議員20年以上
大浦 孝司 議員

正副議長4年以上
上野 洋次郎 議員

全国市議会議長会第98回定期総会において、本市議会から2名の議員が表彰され、6月17日の定例会本会議終了後に表彰伝達式が行われました。

所管事務調査報告

総務文教常任委員会

委員長 上野 洋次郎

本委員会は、令和4年5月31日に、「対馬市社会体育施設等の維持管理状況等について」所管事務調査を行いました。

対馬市内には体育館や野球場、テニスコートなど約30か所の社会体育施設があります。利用状況としましては新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している施設が多く、また、老朽化により使用休止している施設もあります。平成30年度の利用者数は全体で約175,900人であったのに対し、令和2年度の利用者数は全体で約127,000人であり、27・8%の減少となっております。合併以降、対馬市の人口は現時点で1万人以上減少しており、人口減少と少子高齢化に伴い、今後、施設の利用者数も更に減少していくことが予想されます。

また、社会体育施設のほとんどは合併前に整備された施設で、25年から40年以上経過しており、多くの体育館で大なり小なりの雨漏りが発生しているとのことでした。施設の維持管理費には毎年多額の費用を要しており、今後、施設の老朽化により維持管理費は更に増加していくことが考えられます。昨今は競技スポーツと並んで、健康や生きがいづくりなどを目的としてスポーツを楽しむ生涯スポーツの重要性が高まっており、スポーツを取り巻く環境は変化してきています。また、スポーツ人口の高齢化、

人口減少を見据えて、施設の長寿命化や統廃合、転用など、施設の適正な配置を検討する必要があります。昨年10月に市内のスポーツ団体、社会福祉協議会、老人クラブ等の外部委員で構成された「体育施設適正配置及び利活用推進委員会」が設置されました。その中で、今後の社会体育施設の在り方について検討が進められており、今年度内に答申がなされるとの説明を受けました。今後、社会体育施設の統廃合を進めながら、しかるべき施設に予算を配分していただくことを望むものであります。



市内社会体育施設

産業建設常任委員会

委員長 春田 新一

本委員会は令和4年4月22日に対馬市対馬馬保存計画と対馬あか牛の振興について調査を行いました。

まず、対馬馬保存計画に基づき、対馬馬の保存について、目保呂ダム馬事公園の現地視察を行いました。

対馬馬を増頭するためには、活用個体と繁殖個体を明確にし、オス馬の去勢を行っています。調教師の小口さんは、対馬馬を国指定の文化財に登録できればとの思いをもっておられました。

対馬馬保存計画をベースに策定した、あそうベイパークにおける対馬馬活用推進計画に基づく対馬馬の活用の方向性、繁殖、そのためには、人材確保と人材育成が今後の課題であると説明を受けました。また、曳き馬料金については、貴重な自主財源であり、市民と観光客の料金差を設けることで飼育管理に係る財源確保が少なからずできます。市民と観光客との料金差を設けている例は極めて少ない現状です。との説明を受けました。

委員からはあそうベイパークの多目的広場を乗馬する体験ができるルートに整備しては、また、対馬博物館周辺の体験コースも整備してはとの意見もありました。次に対馬あか牛の振興について、峰町三根の居村憲昭氏所有の牛舎を視察しました。

所管事務調査報告

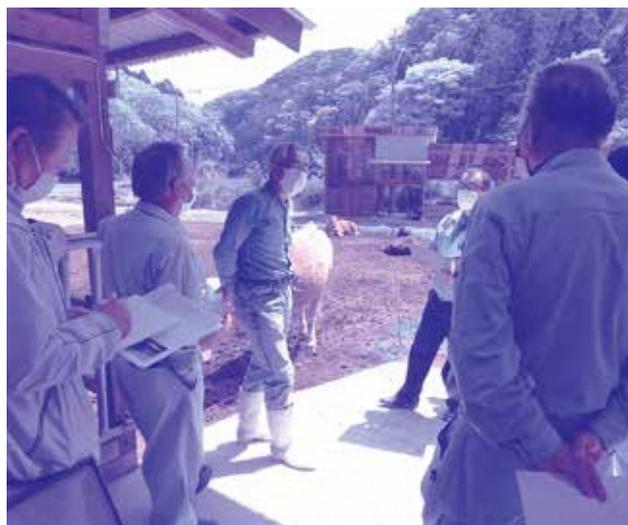
平成30年度親牛7頭、子牛3頭から始め、令和3年度では親牛11頭、子牛7頭、今後の目標、親牛15頭、子牛12頭程に拡大したい。また、対馬における畜産の課題も多くありますとの説明でした。

対馬で家畜市から開催されていた平成23年10月までは取引価格の低迷から飼育戸数、頭数とも減少していましたが、熊本県の家畜市場へ出荷するようになり高値で安定した取引が行われ、平均販売価格は向上しています。今後において明るい兆しが見えています。市では規模拡大に伴う牛舎増築や飼料費の補助を行い増頭に向けて支援を行っています。

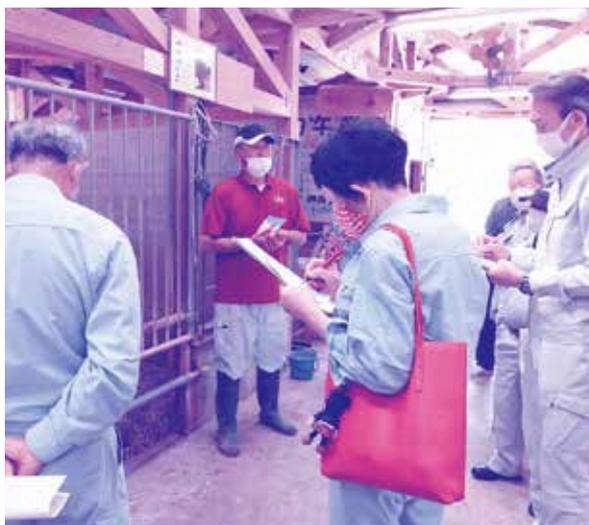
対馬あか牛消費拡大PR事業について、対馬生まれのあか牛を枝肉の状態で作入れ、学校給食、農協、観光のイベント等でPR活動を実施しています。

肉用牛多頭飼育施設整備事業の取組では、平成29年度から、令和2年度まで8施設の牛舎、推肥舎に補助を行っています。平成28年から肉用牛、出荷導入輸送事業を行っており、海上輸送費を助成しています。また、平成29年から特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用し、輸送コスト助成事業や海上輸送費の助成も行っていますとの説明を受けました。

委員から、飼料や牧草を作ることに對して助成も必要ではないか、耕作放棄地を有効に活用して地元で飼料を作ることに取り組んでほしい。畜産者の課題や問題点に目



対馬あか牛についての説明



対州馬についての説明

を向けて対処してほしい。との意見がありました。

行政視察を受け入れています

視察日	市議会名	委員会(会派)	視察内容
5月17日	茨城県守谷市	もりや創世会(会派)	地域マネージャー制度
5月18日			議会運営
5月19日	京都府京丹後市	政友会(会派)	コロナの影響によるこれからの観光振興
5月23日	京都府福知山市	太志の会(会派)	移住定住対策事業



守谷市議会



京丹後市議会



福知山市議会

ごみゼロ宣言と気候危機宣言を行いました



気候危機を回避して持続可能なしまの実現を目指す宣言

世界は今、「気候変動」という危機に直面しています。気温が上昇することで、異常気象が日常化し、感染症や熱中症のリスクが高まっています。また、猛暑、干ばつ、豪雨の発生が農林業に打撃を与え、世界的な食糧不足が懸念されています。さらには、氷の融解等による海面上昇や自然災害により住まいや生活インフラが浸水したり、南方系の生き物が北上移動することで、生態系のバランスが崩れ、森・里・海のめぐみの消失を引き起こしています。対馬でも気候変動の影響は出始め、自然生態系、産業、生活・健康等、私たちの生存基盤が脅かされています。まさに「気候危機」と言える状況です。

SDGs 未来都市である対馬市は、誰一人取り残さず、いつまでも安心安全に暮らせる持続可能なしま社会の実現を目指し、2050年脱炭素に向けた国際社会の気候変動対策に協調しながら不断のチャレンジを行うことをここに宣言します。

対馬市ではこの宣言に係る取組として、対馬市 SDGs アクションプランに基づきながら、市民、地域団体や企業等と連携し、温室効果ガスの削減と吸収による気候変動の「緩和策」と、すでに起きている気候変動による影響を和らげ、あるいは起こり得る影響を回避する「適応策」の両方のアプローチから気候変動対策に努めます。

令和4年6月14日
対馬市長 比田勝尚喜
対馬市議会議長 初村 久藏
SDGs Future City
Tsushima Island



ごみゼロアイランド対馬宣言

世界は今、大量生産と大量消費の結果として、多くのごみであふれています。ごみの運搬や焼却処理には多額のコストを必要とし、地球温暖化の原因となる温室効果ガスも大量に排出します。また、海に流れ出したごみは、美しい海岸景観や観光振興を阻害するだけでなく、ウミガメ等の野生動物の生態系、魚介類を通じて摂取したマイクロプラスチックによる人体への影響も懸念されています。SDGs 未来都市である対馬市は、対馬、日本、そしてこの地球の美しい自然を未来へつなぐため、ごみをゼロにしていく不断のチャレンジをここに宣言します。

対馬市ではこの宣言に係る取組として、対馬市 SDGs アクションプランに基づきながら、市民、地域団体や企業等と連携し、4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)のさらなる推進、ごみのポイ捨てや不法投棄の防止等を実施し、「島内で生じるごみ」と「島外から流れつく海ごみ」の両方のアプローチからごみの発生抑制に努めます。

令和4年6月14日
対馬市長 比田勝尚喜
対馬市議会議長 初村 久藏
SDGs Future City
Tsushima Island

令和4年6月14日、SDGs未来都市である対馬市は、ごみをゼロにしていく不断のチャレンジを進めることを内外に表明する「ごみゼロアイランド対馬宣言」と2050年脱炭素に向けた国際社会の気候変動対策に協調しながら不断のチャレンジを行うことを内外に表明する「気候危機を回避して持続可能なしまの実現を目指す宣言」についての2議案を上程、同日可決し市長、議長の連名により宣言しました。

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。

異例の早さの梅雨明け以降、暑い日々が続いております。コロナ禍における熱中症対策として、暑さを避け、早めの水分補給、こまめな換気及び適切なマスクの着脱などに留意され、その場その場で、くれぐれもご自愛ください。

終戦から77回目の夏、我が国は今後の国政、特に外交、情報、防衛及び経済面を総合した安全保障において、かけがえのない政治リーダーを失いました。

ロシアのウクライナ侵攻以降、我が国周辺の安全保障環境は、より一層、予断を許さない状況となっております。

私たちは、どうすれば国を守ることができるのか？そのためには何が必要なのか？それらを真剣に考えなければならぬ時期を迎えています。

この国を守るため、尊い命を失われた全の方々のためにも。

(文責・陶山 莊太郎)



議会広報編集特別委員会
【委員長】小島徳重 【副委員長】陶山莊太郎
【委員】島居真吾・入江有紀・上野洋次郎